

第十四章 官舎其他待遇

第一節 交 通

東口工事場に於ける交通機關は大正 5 年 11 月海岸より隧道口間に輕便線路を敷設した。熱海に於ける當時の交通機關は海路に於ける東京灣汽船と陸路に於ける熱海、小田原間の熱海軌道とを以て主要なるものとしてゐたのであるが爾來熱海線に於ける建設工事は異常なる進捗を遂げ大正 14 年 3 月 25 日熱海驛開通と共に交通機關は全く完備するに至つたのである。同驛開通後は東口附近より同驛間には「モーターカー」を運轉して従業員の用に供したのである。

尙一方西口大竹は北伊豆地方を縦貫する駿豆鐵道大場驛より北方約 2 哩半の位置に在つて工事着手に際し材料運送並に従業員の乗用に供する交通機關の必要を認め大正 5 年 8 月大場、大竹間に輕便線路を敷設したのである。然るに此の輕便線路は最初軌間 2 呎 6 吋であつたが工事材料の運送量増大せるため大正 11 年に軌間 3 呎 6 吋に改良を加へると共に従來使用した輕便蒸氣機關車を廢して 7,200 型機關車を使用するに至つたのである。同區間に於ける建築列車の運轉には貨客列車を單獨又は混合列車として 1 日 5 回運轉し尙必要に應じ「モーターカー」を運轉して従業員の用に供したのである。

第二節 診 療

工事の實施に當つては従業員の傷痍疾病の發生豫防等には最善を盡し東西兩口に夫々鐵道囑託醫を委囑し工事従事員の醫務一切を擔當せしめたのである。而して本隧道に於て壓搾空氣掘鑿工法を採用するに當り所謂空氣病（ケーソン病）に備ふる爲め東西兩口に夫々救護所を設備し専門醫師並に看護婦を配し傷病者の醫療救護に萬全を期したのである。

尙鐵道囑託醫名、藥價其他協定料金及救護所の設備概要又は壓搾空氣病一覽は



第 259 圖 空氣掘鑿の際設置せる東口救護室
「ホスピタルロック」を設置す

下表の通りである。

鐵道囑託醫一覽

囑 託 醫		擔 當 區 域	手 當	委 囑 年 月 日	解 囑 年 月 日
住 所	氏 名				
静岡縣田方郡函南村大竹	伊 藤 要 治	函南村, 中郷村	月 50 圓	大正 7. 4. 25	大正 7. 10. 16
静岡縣田方郡熱海町熱海	山 形 文 雄	熱 海, 二 宮	月 50 圓	" 7. 12. 27	
静岡縣田方郡函南村大竹	阿 部 房 治	函南村, 中郷村	月 50 圓	" 8. 1. 16	

鐵道囑託醫藥價其他協定料金表

種 別	分 量	藥 價		摘 要
		第一協定	第二協定	
水 劑	1 日分	円 .180	.120	1. 血清療法は薬價を實費とす 2. 死體檢案料は遠距離に出張檢案の場合は出張費を支給するものとす 3. 往診の場合に於ける車馬賃は實費を支給するものとす 4. 入院料中食料, 内外用藥, 瘻具, 燈火, 炭, 室料を含むものとす 5. 第一協定料金とは醫師會の規定薬價より2割以上割引したる額, 第二協定料金は第一協定料金より更に2割以上割引したる額, 即ち第一協定料金は公傷患者に該當し第二協定料金は公傷以外の職員並家族の料金なり 6. 本協定料金は大正 11 年改定し現在に及べるものなり
丸 劑	"	.180	.120	
散 劑	"	.180	.120	
頓 服 劑	1 劑	.150	.100	
含 嗽 劑	"	.180	.120	
吸 入 劑	"	.180	.120	
卷 法 劑	"	.180	.120	
洗 滌 劑	"	.180	.120	
點 眼 劑	"	.180	.120	
點 鼻 劑	"	.180	.120	
灌 腸 劑	"	.180	.120	
塗 布 劑	"	.180	.120	
散 布 劑	"	.180	.120	
塗 擦 劑	"	.180	.120	
座 藥	1 個	.100	.070	
膏 藥	"	.180	.120	
種 痘 料	1 回	.300	.200	
熱 氣 療 法	"	.500	.300	
電 氣 療 法	"	.350	.250	
血 清 療 法	"	.700	.500	
皮 下 注 射	"	.350	.250	
蒸 氣 吸 入	"	.200	.140	
食 鹽 注 射	"	1.400	1.000	
繃 帶 交 換	"	.300	.200	

種 別	分 量	藥 價		摘 要
		第一協定	第二協定	
マッサージ療法	1 回	円 .350	.250	
體 格 檢 査 料	"	.300	.200	
診 斷 書 料	1 通	無 料	.200	
證 明 書 料	"	無 料	.200	
處 方 箋	"	.500	.300	
手 術 料	大	15.000以上	10.000以上	
	中	4.000以上 15.000迄	3.000以上 10.000迄	
	下	.400以上 4.000迄	.300以上 3.000迄	
	大	2.100以上	1.500以上	
處 置 料	中	.700 "	.500 "	
	小	.210 "	.150 "	
	一 等	3.500	3.500	
入 院 料	二 等	2.500	2.500	
	三 等	1.800	1.800	
	自 宅	實 費	實 費	
看 護 婦 料		實 費	實 費	
看 護 人 料		實 費	實 費	
診 察 料		無 料	無 料	
往 診 居住町村	内	無 料	無 料	
"	外	實 費	實 費	

救護所設備一覽

救 護 所 名	開 設 年 月 日	廢 止 年 月 日	擔 當 職 員	
			官 職	氏 名
熱 海 救 護 所 大 竹 救 護 所	年月日 大正 15. 9. 22 昭和 2. 8. 7	年月日 昭和 5. 9. 17 " 5. 9. 17	醫 務 囑 託	守 口 武 次
			"	佐 藤 清 一
			"	渡 邊 晟
			"	林 武 士
			雇 (看 護 婦)	高 見 澤 美 彌
			雇 (事 務 員)	北 澤 た か 井 彌 武 繁 勝 太 田 庸 道

壓搾空氣病病歴一覽表

現場別	罹病年月日	職名	氏名	年齢	歴力	症 状
熱海	大正 15.11.26	礪出人夫	道又仁三郎	25	13封度	胃部疼痛
"	" 15.11.28	技 工	高 田 元	38	16 "	右膝關節痛
"	" 15.11.29	礪出人夫	越 戸 甚 作	26	16 "	腹痛, 胸部及び腹部, 頸部壓迫感
"	" 15.12. 1	坑 夫	孔 井 多 助	25	16 "	頭痛, 眩暈左肩胛關節及び左肘關節痛
"	" 15.12. 3	"	吉 田 長 重	21	17 "	兩肩胛關節痛, 倦怠感
"	" 15.12. 5	技 手	磯 崎 傳 作	34	19 "	右足關節痛
"	" 15.12. 5	坑 夫	加 藤 洋 一	22	19 "	頭痛, 眩暈
"	" 15.12. 8	"	杉 原 寅 八	25	19 "	頭痛, 頭重及胸部壓迫感
"	" 15.12.16	號 令	小野崎 藤一郎	30	21 "	右肩胛關節痛, 胃部疼痛
"	" 15.12.22	坑 夫	青 山 辰 之 助	35	18 "	腰痛, 左膝關節痛
"	" 15.12.23	建築工手	飯 山 治 平	26	29 "	左膝關節痛
"	" 15.12.23	礪出人夫	齋 藤 磯 治	30	29 "	右膝關節痛
"	" 15.12.24	技 工	川 口 谷 慶 造	26	29 "	兩膝關節痛
"	" 15.12.25	線路工手	吉 田 要 造	25	29 "	左膝關節痛
"	" 15.12.25	坑 夫	杉 原 寅 八	25	29 "	"
"	" 15.12.25	雇	北 田 三 太 郎	27	29 "	右膝關節痛, 倦怠感
"	昭和 元 12.27	坑 夫	藤 本 淺 太 郎	36	29 "	兩足關節痛
"	" " 12.27	礪出人夫	濱 田 吉 次 郎	25	29 "	左膝關節痛
"	" " 12.27	雇	森 本 金 之 助	22	29 "	"
"	" " 12.27	坑 夫	加 藤 洋 一	22	29 "	左 耳 痛
"	" 2. 1. 8	"	高 佐 七 郎	25	29 "	"
大 竹	" 3. 5. 8	"	古 川 喜 久 次	25	17 "	左膝關節痛
"	" 3. 5.12	"	山 村 一 郎	37	18 "	"
"	" 3. 5.16	"	古 川 喜 久 次	25	21.5 "	右膝關節痛
"	" 3. 6. 3	號 令	樹 永 末 廣	30	21 "	"
"	" 3. 6. 6	坑 夫	猪 谷 清 忠	24	22.5 "	左膝關節痛
"	" 3. 6.13	"	山 村 一 郎	37	22 "	右膝關節痛
"	" 3. 6.24	雇	森 本 金 之 助	24	23 "	右肩胛關節痛並肘關節痛
"	" 3. 7. 5	"	海 上 保	28	21 "	極度の頭痛
"	" 3.12.13	坑 夫	太 田 次 郎	25	24 "	左膝關節痛

第三節 水 道

A 水源, 詰所 官舎及浴場に使用せる水道の水源は熱海は最初熱海町經營に係る水道より供給を受けたのであるが爾來隧道工事の進捗に伴ひ坑内の湧水量は次第に増加せるため隧道附近の詰

所, 官舎及浴場に限り該水源を利用するに至つたのである。大竹は最初掘抜井戸を使用したのであるが爾來居住者の増加に従ひ湧水量の不足を告げたので隧道西口坑門附近溪谷の湧水を利用したが更に不足を來したので當時極めて豊富に湧出する隧道の湧水を水源に變更し現在に至つたのである。

B 設備 熱海の最初の給水設備は大正 7 年 6 月に着手し同年 7 月竣功したのであるが隧道を水源とする取入施設は坑門起點約 7,700 呎附近本線南側側壁部の湧水箇所にて 4 吋鐵管を挿入して引水し詰所, 官舎及浴場等には $\frac{3}{4}$ " 乃至 $1\frac{1}{2}$ " 鐵管を敷設したのである。此の工事は昭和 2 年 4 月着工し同年 6 月竣功した。然るに同水源は漸次減少を來したので更に坑門起點約 8,400 呎附近南側水抜坑に混泥土堰を築造し 4 吋鐵管を以て引水したのである。此の水源變更は昭和 6 年 1 月着手し同年 2 月竣功した。大竹に於ける給水設備は隧道坑内又は詰所, 官舎及浴場等の施設は熱海と略同様である。

第四節 慰 安

A 浴場 衛生施設の 1 部として慰安浴場を官舎, 合宿所の設置と共に熱海及大竹の兩現場に設備し従業員及其の家族の入浴を開始したのである。爾來従業員の増加に伴ひ兩現場共に浴場の増築模様替等を行つたのであるが殊に東西兩口に於て壓搾空氣掘鑿施行當時は隧道附近に更に浴場を増設して之が従業員のみを入浴せしめたのである。

B 娛樂設備 熱海は古來より温泉勝地として内外共に知られ遊覽客の娛樂設備は頗る多く従つて従業員並に其の家族の慰安には恵まれたのであるが大竹は四圍山岳重疊たる僻陬の部落であつて勢ひ娛樂設備を必要としたのである。娛樂としては種々行はれたのであるが就中撞球は熱海大竹共に盛大を極め撞球は之を會員組織とし其の撞球場は大竹は大正 15 年 11 月熱海は昭和 2 年 7 月夫々隧道口附近に設置した。撞球に次いで盛大を極めたものは野球, 庭球, 卓球等の運動競技である。但し設備の大部分は従業員各自の負擔である。

第五節 保 安

A 請願巡查 工事實施に當りては實に廣大なる諸種の施設を要したのであるが之が治安警戒又は従事員の治安維持には請願巡查を熱海及大竹に派出して工事遂行に萬全を期したのである。

B 防火施設 東口の工事場及官舎は熱海町内に存在せるため従つて當省專屬の防火施設の必要を認めず西口大竹は工事場並に従業員居住官舎及請負人飯場等を以て集團を成し殊に山間僻陬且通路急峻又は狹隘なるため火災事故惹起せる場合は隣接部落より應援を求むること頗る困難なので職員を以て消防組を組織し手押ポンプを常備して防火施設に最善の注意を拂つたのである。

第六節 手 當

隧道坑内の作業に従事せる職員には隧道及空氣掘鑿手當を支給して職員の待遇改善を圖つたのである。

A 隧道手當 隧道手當は坑内 300 米以奥の作業に従事した職員に支給せるもので此の従事作業を甲乙に区分し即ち甲作業は掘鑿、疊築、試錐、鐵管延長、水換、機械大修理、測量、軌道、電線路延長、空氣掘鑿による空氣外勤務及之等に類似せるもの、乙作業は軌道、電線路の保守、機械器具其他小修理、物品輸送及之等に類似せるもの等であつて其の手當額は下記の通りである。

官 職	單 位	甲 作 業	乙 作 業
高 等 官	1 日 に 付	円 .500	円 .300
判 任 官	〃	.400	.250
雇 員	〃	.350	.200
備 人	〃	.300	.160

B 空氣掘鑿手當 空氣掘鑿手當は壓搾空氣内に於て作業する職員の手當にして其の給額は職員の身分に不拘一率に氣壓に應じて下記手當を支給したのである。

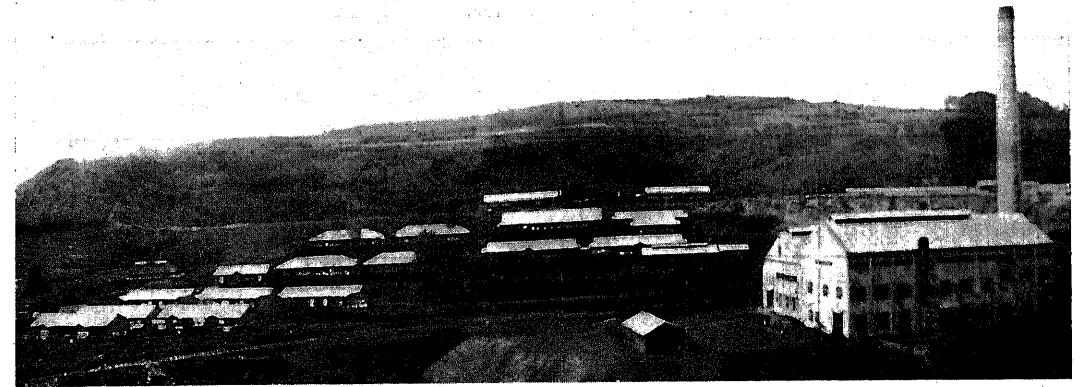
氣 壓	勤 務 時 間	手 當 額	氣 壓	勤 務 時 間	手 當 額
20 封 度 迄	7 時 間	円 2.000	33 封 度 迄	4 時 間	円 2.000
26 封 度 迄	6 時 間	2.000	36 封 度 迄	3 時 間	2.000
30 封 度 迄	5 時 間	2.000	39 封 度 迄	2 時 間	2.000

第七節 給 與

導坑の掘鑿進捗に伴ひ湧水量次第に増加し爲めに大正 12 年以降坑内諸作業に従事する職員には護謨製の合羽又は護謨製長靴或は防水布カバー掛帽子等の防水具を支給して職員の能率増進を圖ると共に保健に最善を盡したのである。

第八節 官 舍

東西兩口に於ける官舍は従事員多數に上れる爲相當數に達してゐる、救護所は空氣掘鑿施行の際設置せるもので、屋内にホスピタルロックを据付、壓搾空氣病患者の爲に備へた。



第 260 圖 西 口 官 舍

東 口 官 舍 其 他 一 覽 表

種 別	構 造	數 量		建 平 米	費 額
		等 級	戸 數		
官 舍	木 造	甲 號	1	134.400	円 4,311.552
		乙 號	2	145.500	4,667.640
		丙 號	16	796.400	25,548.512
		丁 號	35	1,102.300	35,361.784
合 宿 所	木 造	乙 號		218.900	6,129.200
		同		117.400	2,798.370
工 手 合 宿 所	木 造			336.300	8,927.570
				109.900	3,551.500
救 護 所	木造一部二階建				
第 1 浴 場	木 造			49.600	2,150.656
				35.600	1,543.616
第 2 浴 場	同			85.200	3,694.272

西口官舍其他一覽表

種 別	構 造	數 量		建 平 米	費 額
		等 級	戶 數		
官 舍 同 同	木 造 同 同	乙 號	2	145.500	4,698.195 ^円
		丙 號	19	938.000	30,288.020
		丁 號	38	1,156.900	37,356.301
合 宿 所 工 手 合 宿 所	木 造 同			2,240.400	72,342.516
				219.000 117.400	6,132.000 2,798.370
救 護 所	木造一部 二階建			336.400	8,930.370
				139.610	4,616.750
官 舍 浴 場 工 事 場 浴 場	木 造 同			92.500	4,010.820
				18.200	314.650
				110.700	4,325.470